



☆会長あいさつ☆

先日、ある中学校の3年生の少年が、担任の先生と一緒に私を訪ねて職場に来られました。私の仕事についてのレポートを作成したので直接に渡したいとのことでした。

当時、小学生だったその少年は、敷地の外から私の職場を毎日のように眺めていました。そんな少年を見かけた私は声を掛け、職場をみせてあげました。それからその少年は、たびたび職場に来るようになり、その度に私の仕事のこと、学校や友達のことなど、彼といろいろな話をしたようです。

最初、少年が通う中学校の先生から連絡をいただいた時、なんとなくは覚えていましたが、その少年とは話をしただけなので私の記憶は曖昧でした。しかし、その少年にとってはとても思い出深く、その後の学校、仲間や家族と過ごす中に大きく影響しています！とも言ってくれました。彼の作成したレポートはすばらしく、思いと感謝が詰まったもので大変感動しました。

小さな出来事でしたが、彼の素敵な気持ちに触れ、私の心も穏やかにさせてくれた爽やかなとある一日でした。

☆校長先生のお話☆

台風18号の接近で体育会当日まで気をもむ日が続きましたが、晴天の下、休日に体育会を実施することができたことをたいへん嬉しく思っています。PTAの方々におかれましては、受付や飲み物の差し入れ、パイプ椅子の後片付けなど、グラウンドのあちこちで助けていただきありがとうございました。

今年度は昨年度まで男女別に行っていた組体操・マスゲームを合体させたり、全員縄跳びにチャレンジさせたりと新しい試みにも取り組んでみました。今回、組体操とマスゲームを合体させたことにより、迫力も一体感も増し、今まで以上に感動的なフィナーレを目に焼き付けることができました。生徒たちもあの感動体験を新たなエネルギーに変え、次に行われる音楽コンクールや文化祭に繋げていってもらえたらと思っています。

最後になりましたが、PTA役員の方々に計画していただいていたPTA演技を日程と開始時間の変更のため中止せざるを得なくなりましたことをこの場を借りてお詫び申し上げます。

☆主な行事予定☆



10/21(土)	文化祭
10/23(月)	代休
10/30(月)	3年命の感動体験
11/6(月)	3年実力テスト
11/6(月)～10(金)	2年トライやるウィーク
11/10(金)	3年進路保護者会
11/17(金)～22(水)	3年個別保護者会
11/21(火)～23(木)	学校公開
11/24(金)	代休
11/29(水)～12/1(金)	期末テスト

☆各学年の様子☆

【1年生】 体育会も終わり、次は音楽コンクールと文化祭に向けて、頑張っています。特に音楽コンクールは、クラスの団結力が大切な行事です。クラスごとに目標を決めて取り組みます。

学習面では、読解力をつけるために毎週金曜日に読売ワークシート通信を始めました。新しいことに挑戦していくことが多い39回生ですが、さまざまな場面で応援していただければと思いますので、よろしくお願いします。

【2年生】 体育会では競技、演技、応援と様々な面で中堅学年らしく先輩を支え、後輩を導く姿を見ることができました。頑張りました。これから音楽コンクール・文化祭、トライやる・ウィークと大きな行事が続きます。これを機に学級・学年の和をさらに深め、お互いを高め合う集団として成長し続けてほしいと思います。加えて、中間考査の反省も忘れずに、学習面でも成長できるような集団でもあってほしいと思います。応援よろしくお願いします。

【3年生】 体育会への熱いご声援ありがとうございました。3年生の集中力、爆発力を後輩に示すことができました。少しは今までの先輩に追いつくことができたのではないかと感じています。合唱コンクールへ向けての学級の団結、文化部の最後の発表となる文化祭と行事でしか得ることのできない体験を積んでほしいと思っています。学習面では中間テストが終わり、11月初旬の実力テスト、11月末の期末テストへと続きます。進路決定へ向けての大切な時期です。行事、学習の両面での支援をお願いします。

専門部からの報告

【文化部】 制服リユースのご案内

- ・10/21(土) 文化祭当日 10:45~11:45 東校舎1階 会議室
- ・玄関に受付BOXを設置しています。(常時)
- * 制服、体操服等は自宅での洗濯でかまいません。数が不足しています!ご協力をお願いします。

【愛護部】 10/3(火)「神戸っ子応援団」で朝の挨拶運動を行いました。

*次回は11/1(水)です。ご協力よろしくお願いします。

【3年生】 11/10(金) 進路保護者会で卒業記念品代(1000円)を集める予定です。当日来られない方は、前日までに、子供さんを通じて担任の先生に渡して下さいますようお願いいたします。

*案内書は配布済みです。封筒を添付していますので保護者会迄なくさないようお持ち下さい。

音楽コンクール・文化祭について

- ・「ひとり一役運動」で文化祭のパイプいす片づけに応募された方は、ご協力よろしくお願いします。
- ・当日は多数の方が来校されるため、席取り、携帯電話・スマートフォンの使用、ビデオ撮影はマナーを守っていただきますよう、お願いします。

～陶芸販売をします!～

文化祭にて仲よし学級の生徒が作製した陶芸品を販売します。素敵な作品が多数出展されます。ぜひ、お越しく下さい。(購入の際は小銭をご用意ください)

10:45~11:45、14:00~15:00 北校舎3階フロアー



校長の独り言

校長 堀口 和則

「信じられない二女のことば」

私事で恐縮ですが、私には娘が2人息子が1人おります。上の娘が高校生、下の娘が中学生のときのことです。家族で夕食を囲んでいるときに長女が携帯電話を片手にメールをしたり、電話をしたりしているのを見かねた二女が長女に「おねえちゃん、ご飯のときぐらい携帯触んのやめときや。行儀悪いで！」と強い口調で言ったのです。その時、二女はまだ中学生で携帯電話を持たせてもらえておらず、欲しくて欲しくてたまらない携帯電話を自分の目の前でこれ見よがしに使う長女に腹が立つ気持ちもあったのでしょう。それを見ていた私は、二女の言う通り決して行儀のよい態度とは思えなかったので、二女に同調して長女の行儀の悪さをたしなめたのでした。

それから2年ほど経って二女も高校生になり、携帯電話を買い与えたある日、同じように家族で食事をしている最中に、今度は二女があ那时的長女のように、携帯電話を片手に食事をしているではありませんか。私は2年前のことを思い出し、思わず二女に「食事中に携帯電話を触るのはやめなさい。」と注意したのです。当然素直に携帯電話を触るのをやめると思っていた私ですが、その時二女が発したことばに耳を疑いました。「うるさいな。ほっといて！」ということばが返ってきたのです。あの時、きつい口調で長女に「行儀が悪い！」と文句を言った二女のことばとは思えませんでした。その時、私は携帯電話は下手をすると人のまともな感覚を奪ってしまう魔物にもなりかねないと感じました。もし、あの時もう一步突っ込んで私が怒っていたら、大バトルになっていたかもしれません。

先日、「小学生が憧れる職業ランキング」に、「YouTuber」がベスト3にランクインしたというニュースを聴きました。「YouTuber」を否定するつもりはありませんが、「これでいいのかな？」と今の若者に一抹の不安を感じずにはいられません。将来有望な若者が、携帯依存症に陥り自分の可能性を伸ばしきれずに終わることがないように願うばかりです。



「何を言っても素直に聞いてくれない」その2(先月の続き)

家にいる間中、スマホを手放さない子に注意をしましたが、屁理屈を言ってはこちらの言うことを聞こうとしません。このような時、あなたならA、B、Cの中でどれを選ぶでしょうか？

A 正しいことは正しいこととして一切妥協せず毅然とした態度を取る。

B 子どもの疑問や批判に対して説明し、納得の上でこちらの要求を求める。

C 何を言っても無駄だし、そういう時期なので、それ以上は言わない。

あなたはどれを選んだでしょうか。あなたが選ばなかった選択肢はなぜダメなのでしょう？20年前でしたら、私はBを選んだと思いますが、今はどれもオッケーだと思っています。

Aは保護者の指導者的側面として立派な姿（毅然と言うことばが魅力的です）であると思います。Bも子どもの発達的特質を理解した上でこちらの要求を求めるという手間暇のかかる態度で、これも立派だと思っています。では、Cはどうでしょうか？もはや子どものことを諦めてしまって、保護者としての責任放棄にも見えるかもしれません。

心の問題を解決するのに、カウンセリングにはいろいろな手法があり、時には正反対の手法もあります。それでも、それぞれは実際に用いられていますし、基本的には相互の手法を尊重しています。一番大切なことは、今この方にとってどうなること、どうすることがベスト、あるいはベターかを考え、そのためには何ができるかを考えることです。その上で、ある手法を用いて問題が解決できればオッケーですが、解決できなければその手法の問題点を探り修正したり、別の手法に変更したりします。うまくいかなかった時のポイントは、自分はこんなに一生懸命にやっているのだから、相談に来られた方のやる気がないのが原因などと相手のせいにはせず、次の一手を考えることです。

こうしたことから考えれば、AでもBでもCでも、うまくいけばオッケーですし、うまくいかなければ次の作戦を考えればいいだけのことです。ちなみに、Cが一番エネルギーの要る方法だと思います。つまり、真の意味でCを取るということは、そうした間に子どもが示すいろいろな行動を受け止める（臨床の世界では引き受けるとも言います）ことになるからです。いずれのやり方を取ったとしても、そのやり方に子どもが従わなければ、従わない子どもが悪いとすることが一番の問題です。よしと思って、せっかく自分が子どものためにしてあげたのに、それを聞いてくれなければ、腹も立ちますし、自分の自尊心も傷つきます。私たち人間には自分を傷つけないようにする心の安全装置があります。ただ、この安全装置だけが働いたとき、目の前の子どものことよりも自分のことに目が向いてしまい、真の問題はどこかへ行ってしまいます。

どのような形であっても、子どもと関わったならば、うまくいなくても諦めずに、その結果を子どもと一緒に引き受ける覚悟をもつことが大切だと思います。とかく大人は子どものためだとして叱責ばかりし、それが効かなければ「もう後は知らない」と突き放したり、時には言葉や行動の暴力を使ったりすることも聞きますが、もはやそれは自分を守っているだけです。そうしているのは子どものためなのか、自分のためなのかを振り返ることも重要です。